

## 岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名：デイセンターまにわ

施設所在地：岡山県真庭市下市瀬653

施設種別：生活介護

運営主体：社会福祉法人 慶光会

管理者：守屋 史一

評価月日：令和5年3月28日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：B ホームページやパンフレットにより、事業指針・倫理綱領は提示されている。職員へは会議などで理念や基本方針を伝えるとともに、毎週月曜日の職員朝礼で倫理綱領を読み上げ、支援の基本を再確認している。
I-2 計画策定	評価：B 計画の策定にあたっては、法人の経営方針を基に、事業所に必要とされている課題や機能を考察し策定している。その他、利用者の想いや職員の想いも組み入れた計画としている。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：B 事業所の主要メンバーで構成された会議を開催し、現場の課題や職員の体調や悩みを把握する場としても機能している。その他、リスクマネジメントを共有することで事故防止にもつながっている。
II-1 経営状況の把握	評価：B 福祉情勢や地域のニーズの把握などは、法人として情報収集している。事業所として必要なことについては、職員間で共有し課題認識をしている。
II-2 人材の確保・養成	評価：B 専門性の向上のため、法人全体で新任研修や職員研修を行っているが、各自がキャリアアップのために外部研修に参加するということが少ないため、今後は事業所側から参加を促していくことが必要である。
II-3 地域との交流と連携	評価：B 地域主催の行事への参加は、コロナ過が続く中でもあり参加できなかったが、ボランティア等の少人数で地域との交流を図った。

III-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価：B</p> <p>法人全体で人権擁護、虐待防止、プライバシー保護についての周知を図っている。</p> <p>人権侵害や虐待については、常に情報収集を行い、問題に至る前に対応できるよう努めている。</p>
III-2 サービスの質の確保	<p>評価：B</p> <p>年1回自己評価を実施して、支援の振り返りを行っている。問題行動の多い利用者については、ケースカンファレンスを実施し支援の検討を行っているが、その他の利用者にも目を向け、課題を探る取り組みが必要である。</p>
III-3 サービスの開始・継続	<p>評価：B</p> <p>サービス利用開始前の見学の際、希望者へは作業体験も行ってもらうなど臨機応変に対応している。疑問や質問があればその場で説明し、納得されたうえで契約できるよう努めている。</p> <p>サービス利用開始の際には、契約書・重要事項説明書を提示し、丁寧に説明を行っている。</p>
IV-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：B</p> <p>本人、保護者との面談を通じて利用者のニーズを把握し、個別支援計画の策定を行っている。また、連絡帳を活用して日々の状況等の情報収集、情報提供を行っている。</p>
IV-2 日常生活支援サービス	<p>評価：B</p> <p>日々の取り組みや開所日の行事などは利用者の意見を取り入れながら実施し、楽しみを持ちながら通所してもらえるよう取り組んでいる。</p>
V-1 生活環境の整備	<p>評価：B</p> <p>利用者が快適に過ごせるよう環境を見直し、整備が必要な部分については整備を行っている。</p>
VI-1 緊急時の対応	<p>評価：B</p> <p>緊急時対応マニュアルは、全職員に配布し周知を図っている。</p>
VII-1 就労意欲の醸成	非該当。

\* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や未実施の場合はその理由など、評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。

\* 「VII-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。